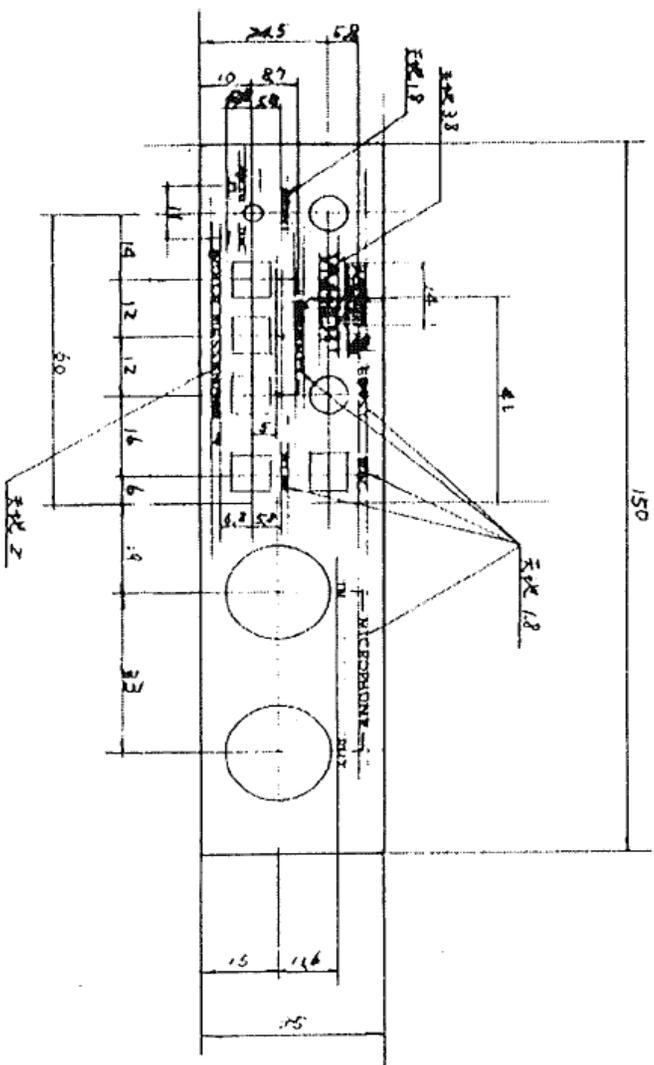


# 取扱説明書

目次 (取説番号 AC-308)

項目	頁
概要	2
前面パネルの説明	3
背面パネルの説明	4
接続方法	5
使用上の注意	5
接続図	6
使用方法	
キーワードの変更方法	7
本体ボタンの操作方法	
1) 録音	9
2) 再生	9
3) 無線機の送信	10
4) スピーカ・スイッチ	10
外部無線機からのDTMF信号による操作方法	
1) 録音	11
2) 再生	12
3) オート・リビート	13
4) VM-101が接続されている無線機との交信	15
5) パーソナル無線機のリセット	17
6) 待機チャンネルのセット	18
少し詳しい説明	
タイム・アウトについて	19
各チャンネルの後押し優先について	19
キーワード・ロッカアウトについて	19
チャンネルについて	
1) ネットワーク・チャンネル1~3	20
2) オートリビート・チャンネル7	20
3) 交信チャンネル8	21
4) 待機チャンネル9	21
5) パーソナル・リセットチャンネル#	21
動作がおかしい時 (あれ! ? おかしいなと思ったらお読みください。)	
異常動作防止機能について	22
修理に出す前に	22



ADDNIS  
**VM-101**  
 VOICE MESSENGER

概要

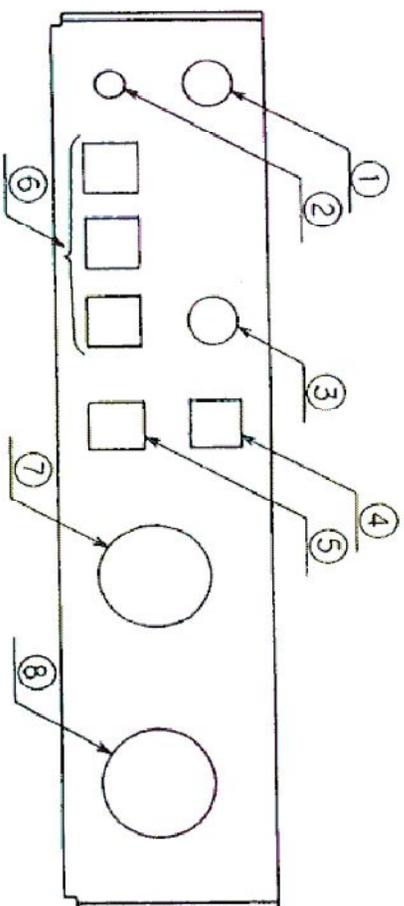
本機は16秒間の録音、再生ができるチャンネルを4つ持った無線機に直結出来るソリッドステートレーザーです。チャンネルを直接指定して、チャンネル1～3は、メツセージの録音と再生専用です。チャンネルを直接指定して、録音又は再生を指示するだけで、指定したチャンネルの録音と再生ができます。4つめのチャンネルは、そのチャンネルに録音されたメツセージが、録音の終了と共に自動的に本機につながっている無線機から送信されます。この機能で本機は簡易レピーターとして利用できます。

録音と再生以外に本機には、2つの特別な機能があります。1つはチャンネル8のモードを使用する事により本機につながっている無線機のコード・スワッチとして本機を利用できる機能。もう1つは、本機をパーソナル無線機につないだ時に、他の無線機から本機につながっている無線機をリセットできる機能です。

本機への録音は、本体の録音ボタンにより直接本機に録音する事と、他の無線機から本機につながっている無線機を介して本機に録音することの2通りができます。また、再生も、本体の再生ボタンにより本機のスピーカーから直接再生音を聞く事と、他の無線機で本機につながっている無線機を介してその再生音を聞く事ができます。

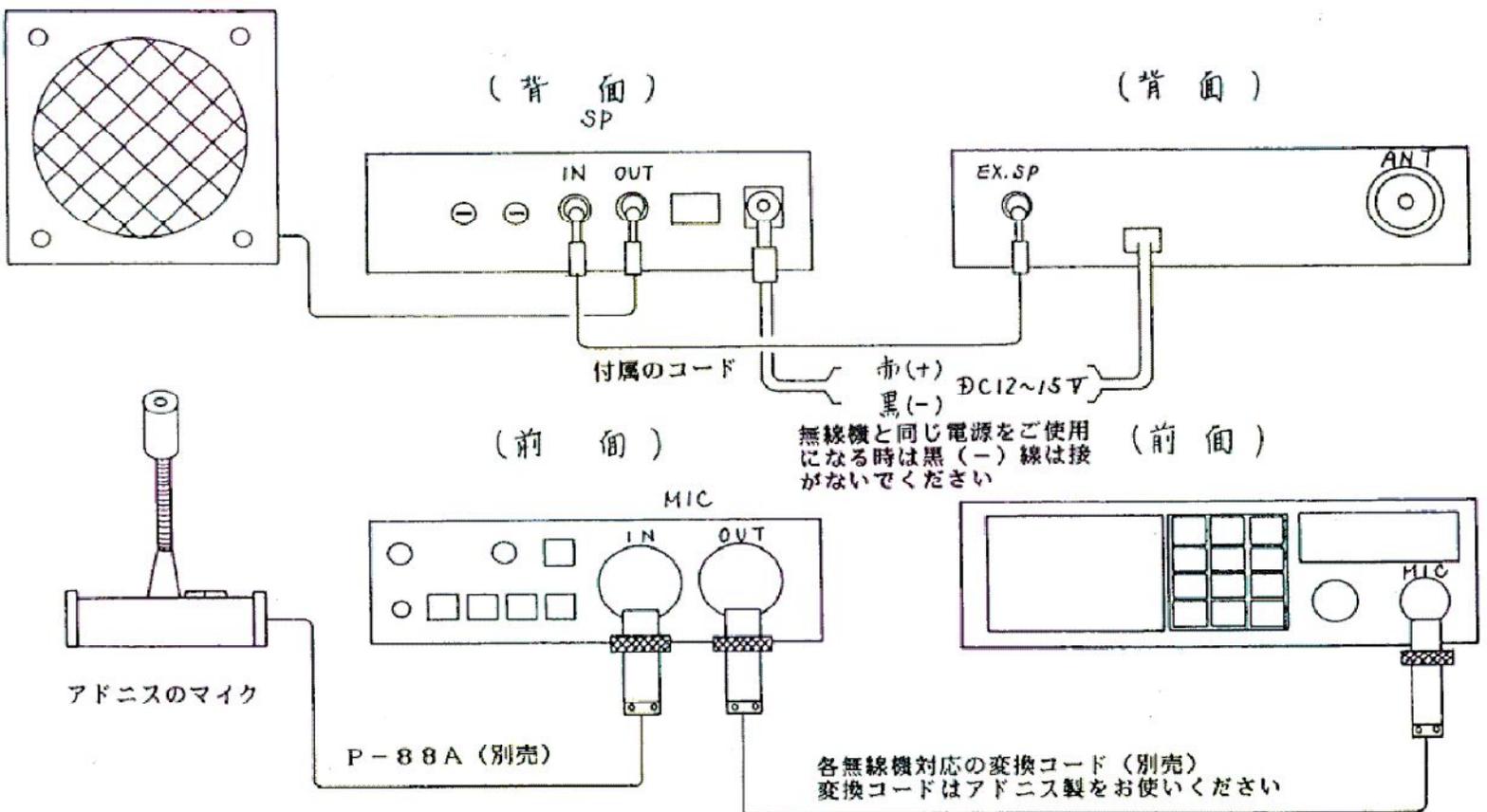
無線機への接続は、本機を取り付ける無線機を全く改造する事なく行えます。本機は無線機とマイクの間に入ります。又本機をつないだ後も無線機の送信はマイクのP.T.Tを押すだけで行えます。本機をつなぐ前と操作は全く同じです。

本機は外部の無線機からコントロールされる時、キーワードによって識別されるので同一周波数で最大9台までの本機の使用が可能です。



- ① スピーカー表示LED  
スピーカーの音声出力が自動モードの時に緑色に、スピーカーの音声出力が接続モードの時、すなわちスピーカーが直接、無線機につながっている時に赤色に点燈します。
- ② スピーカー切り換えスイッチ  
スイッチが押し込まれた状態でスピーカーは直接無線機につながります。出ている状態ではVM-101によって必要な時に無線機に接がたりVM-101の再生音を出したりします。《詳しくはP・9の“本体ボタンの操作方法・4) スピーカーをこまごま切替”及びP・21の“少し詳しい説明・3) 交信チャンネル8”をご覧ください。》
- ③ BUSY、録音ノ再生表示LED  
本体のボタンでチャンネルを指定した時又は無線機がキーワードを受信し次の司令待ちになった時に緑色に点燈します。本体ボタン、マイクP.T.T、又は外部の無線機からの司令で、VM-101が録音ノ再生の状態になった時に赤色に点燈します。
- ④ 録音ノP.T.Tボタン  
チャンネルを指定し③のLEDが緑色に点燈している時は録音ボタンとなり、押し続けている間マイクの音を録音します。但しチャンネルの録音時間は16秒なので16秒以上押し続けている時はP.T.Tと並列に接続されているP.T.Tとして働きますのでマイク又はこのボタンで無線機の送信ができます。
- ⑤ 再生ボタン  
チャンネルを指定し③のLEDが緑色に点燈している時は、チャンネルとなり、押すと同時に選んだチャンネルが再生されます。
- ⑥ チャンネルボタン  
1～3までのチャンネルを指定するボタンで、押すと同時に録音ノ再生待ちである事を示す③のLEDが緑色に点燈します。
- ⑦ マイク入力  
アプニス製のマイクをご使用の場合は変換コネクタP-88Aをご使用ください。他のマイクの場合は、アプニスの標準8Pコネクタの接続に合わせてください。
- ⑧ マイク出力  
VM-101を接続する無線機に対応するアプニス変換コネクタをご使用ください。





使用方法

キーコードの変更方法

1) 本体側

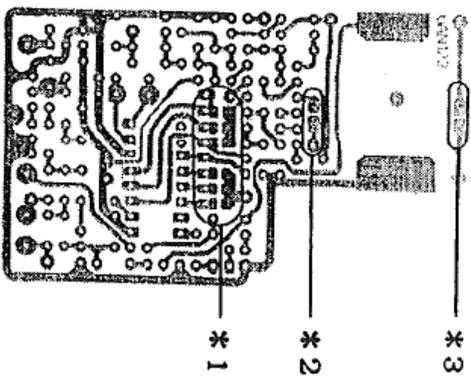
キーコードは出荷時には1に設定されています。変更したいときは、⑨のキーコードスイッチを下の表によって決め手ください。キーコードは1から9迄です。

キーコード	キーコード
1	1
2	2
3	3
4	4
5	5
6	6
7	7
8	8
9	9

上記以外の設定はしないでください。マイク側での設定ができないのでVM-101が応答しなくなります。

2) マイク側

VM-101専用マイクHK-12Vのキーコードも出荷時には1に設定されています。変更したいときは下の示すボタン図の\*1の部分のハンダ付けを変更してください。変更方法は次の真に詳しい説明があります。\*2と\*3のハンダ付けを変更することには「キーコードA・B・Cの3つのモードになり、この状態でP.T.Tを押した時に出る「\*」との組み合わせを変える事ができます。工場出荷時はAのモードに設定されています。

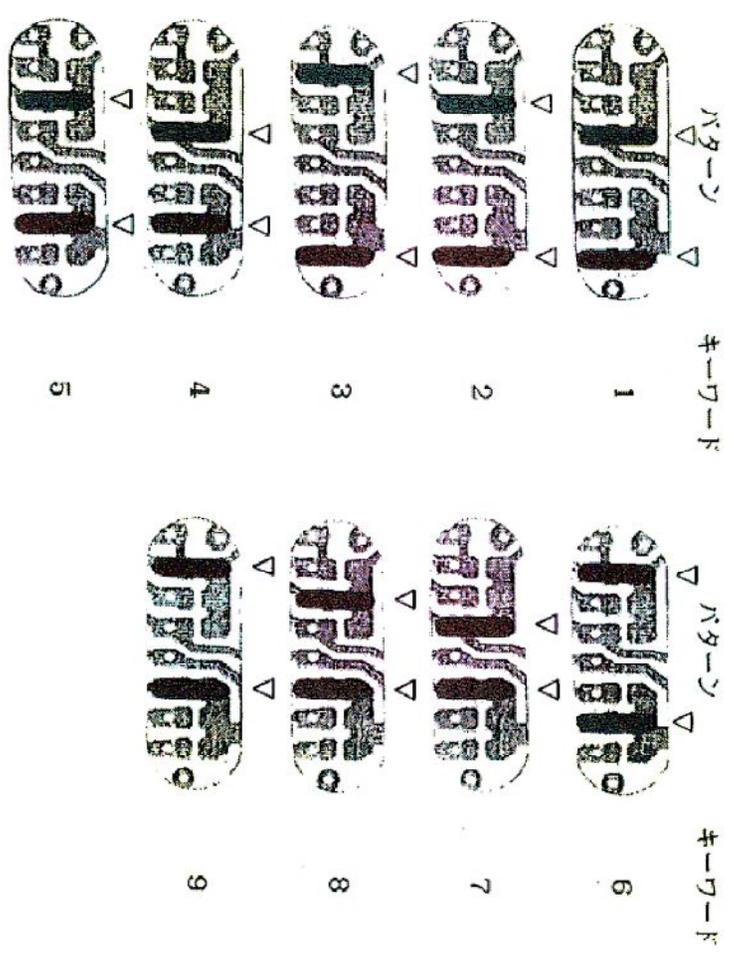


Aのモード  
 ○ A.U.T.OはVM-101専用でP.T.Tを押したときに「キーコード」が出、離れたときに「\*」が出ます。  
 ○ M.A.N.U.U.のときは通常のテンキーになります。

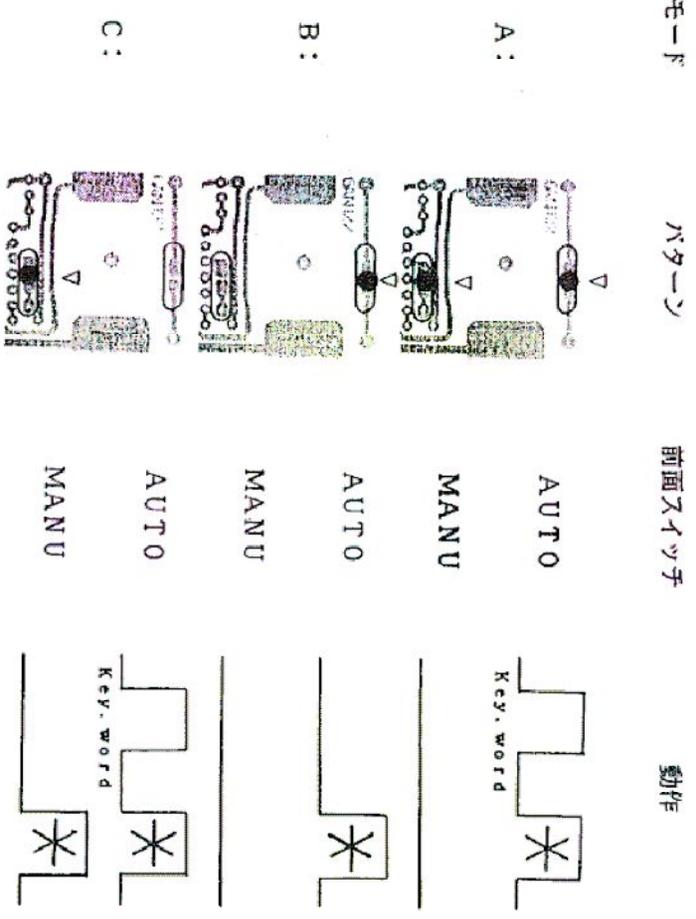
Bのモード  
 ○ A.U.T.Oは当社製テレホンインターフェイスT.A.-200専用でP.T.Tを離れたときだけ「\*」が出ます。  
 ○ M.A.N.U.U.のときは通常のテンキーになります。

Cのモード  
 ○ A.U.T.OはVM-101専用になります。  
 ○ M.A.N.U.U.のときはT.A.-200専用になります。

マイクのキーワード設定方法



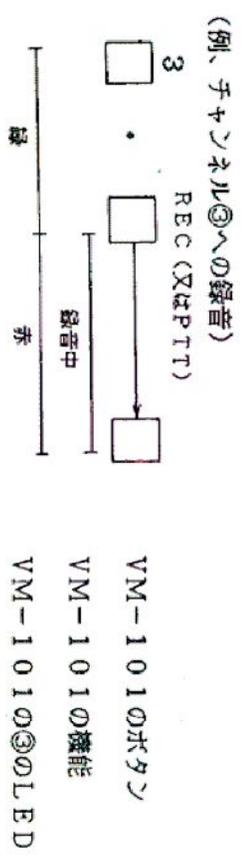
マイク前面スイッチのモードの変更方法



本体ボタンの操作方法

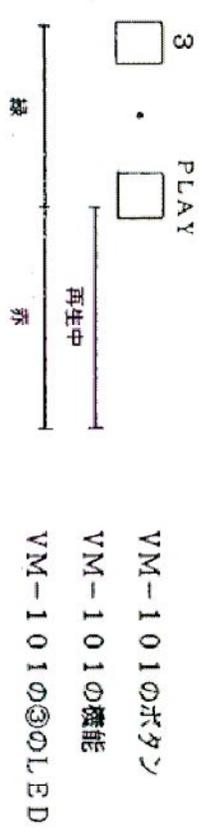
1) 録音

- (a) チャンネル・ボタン③で1~3のいずれか録音したいチャンネルを指定する。
- (b) ③のLEDが緑色に点燈して、録音待ちを知らせる。
- (c) 録音ボタン④を押しながらマイクにメッセージをふき込む。
- (d) 録音中は③のLEDは赤色に点燈して録音している事を知らせる。
- (e) メッセージが終わると④のボタンを離す。
- (f) ④のボタンの代わりにマイクのPTTボタンを使っても同様に録音できます。



2) 再生

- (a) チャンネル・ボタン③で1~3のいずれか再生したいチャンネルを指定する。
  - (b) ③のLEDが緑色に点燈して、再生待ちを知らせる。
  - (c) 再生ボタン⑤を押す。
  - (d) ③のLEDが赤色に点燈して再生中を知らせる。
- (例、チャンネル③の再生)



3) 無線機の送信

- (a) ②のスピーカー切り換えスイッチを押してスピーカーをつなぐ。
- (b) スピーカー表示LEDが赤色に点灯する。
- (c) ③のLEDが点灯している時に、④のボタン又はマイクのP T Tを押す。  
(本体の④のボタンを押していないのに④のLEDが点灯している時は、外部の無線機がVM-101を使用している場合ですので、本体の④～⑥までのボタンは受け付けません。)
- (d) ②のスピーカー切り換えスイッチを元に戻す。  
(通信が終わった後は必ず②のスピーカー切り換えスイッチを自動モードに戻してください。スピーカーが直接無線機に接続されていると、本体ボタンでの再生音及び、チャンネル“8”での通信モード(後で説明します)の時に音が出ません。)

4) スピーカー・スイッチ

- (a) このスイッチは “3) 無線機の送信” の所でも説明した様に、外部スピーカーをVM-101によって自動的に切り換えるか、VM-101に関係なく、直接無線機に接続するかを決めるスイッチです。
- (b) 自動的に切り換えるモードになっていると、本体ボタンによる再生の時はチャンネルに入っているメッセージが外部スピーカーから出ます。又、チャンネル8のモードの時は通信相手が発信すると外部スピーカーが自動的につながり相手の音が出ます
- (c) 直接無線機につながっていると、VM-101の動作は無関係に只の無線機の外部スピーカーとなります。

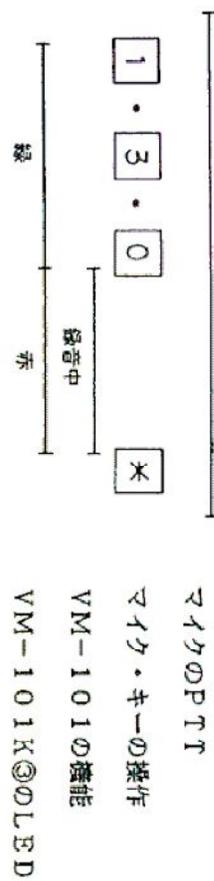
外部DTMFマイク(子機付マイク)による操作方法

1) 録音

1-1. 専用マイクHK-12Vを使用しない場合

- (a) P T Tを押す。
- (b) キーワードを押す。
- (c) メッセージを記録したいチャンネル1～3を指定する。
- (d) “回”を押す。“回”キーを離すと同時に本機は録音を開始します。
- (e) “困”キーを押して録音の終了を知らせる。“困”キーを押すと同時に録音を中止します。
- (f) P T Tを離す。

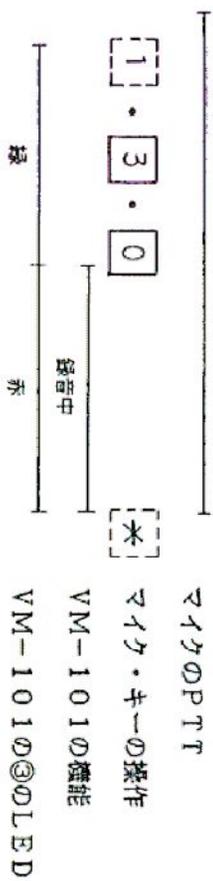
〈例、チャンネル3への録音：キーワード=1の場合〉



1-2. 専用マイクHK-12Vを使用する時。マイクスイッチAUTO

- (a) P T Tを押す。
- (b) メッセージを記録したいチャンネル1～3を指定する。
- (c) “回”を押す。“回”キーを離すと同時に本機は録音を開始します。
- (d) P T Tを離す。

〈例、チャンネル3への録音：キーワード=1の場合〉

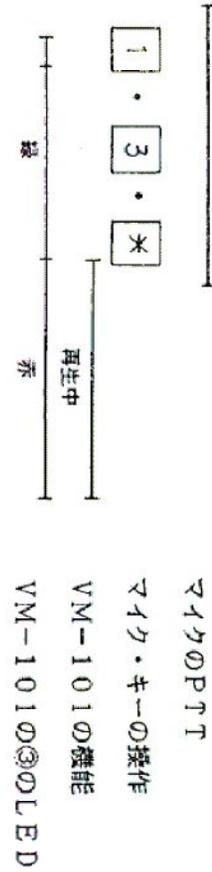


2) 再生

2-1. 専用マイクHK-12Vを使用しない時

- (a) PTTを押す。
- (b) キーワードを押す。
- (c) メッセージを聞きたいチャンネル1~3を指定する。
- (d) “” キーを押す。
- (e) PTTを離す。

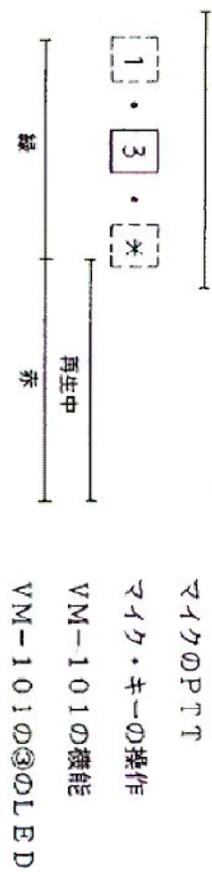
(例、チャンネル3の再生：キーワード=1の場合)



2-2. 専用マイクHK-12Vを使用する時。マイクスイッチAUTO

- (a) PTTを押す。
- (b) メッセージを聞きたいチャンネル1~3を指定する。
- (c) PTTを離す。

(例、チャンネル3の再生：キーワード=1の場合)

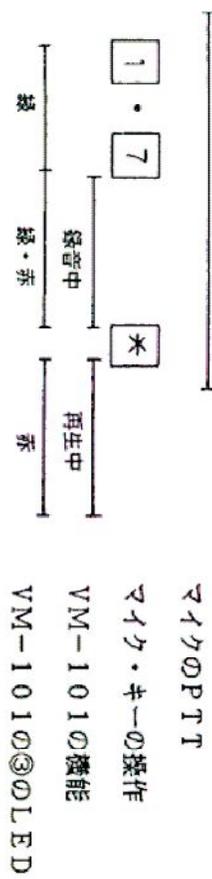


3) オート・リビート

3-1. 専用マイクHK-12Vを使用しない時

- (a) PTTを押す。
- (b) キーワードを押す。
- (c) RPTキー“”を押す。“”を離すと同時に録音を開始します。
- (d) メッセージを録音する。
- (e) “” キーを押す。
- (f) PTTを離す。

(例、始めてオート・リビート、チャンネルを指定する時)



3-2. 専用マイクHK-12Vを使用しない時。モード設定済みの時

- (g) オート・リビートチャンネルは一度設定すると3分間はこのチャンネルにとどまるので次回の使用ではチャンネルの指定を省略できます。又使用する毎に3分間という時間は再設定されるので、3分以内で使いつづけている限りチャンネルの指定は必要ありません。

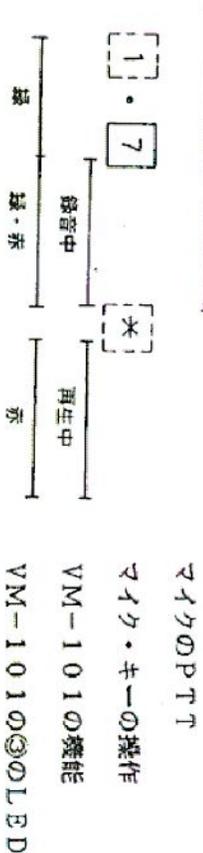
(例、一度チャンネルが設定されている時)



3-3. 専用マイクHK-12Vを使用する時

- (a) PTTを押す。
- (b) RPTキー“回”を押す。“回”を離すと同時に録音を開始します。
- (c) メッセージを録音する。
- (d) PTTを離す。

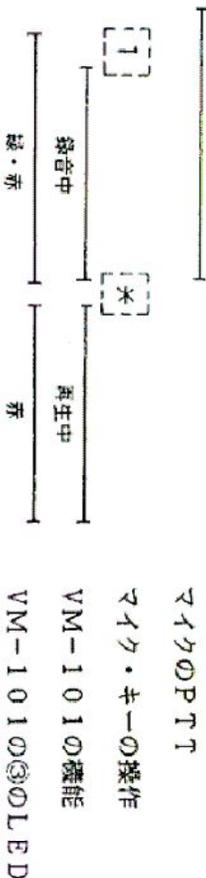
(例、始めてオートリビートチャンネルを指定する時)



3-4. 専用マイクHK-12Vを使用する時。モード設定済みの時

- (e) オートリビートチャンネルは一度設定すると3分間はこのチャンネルにとどまるので、次の使用ではチャンネルの指定を省略できます。又使用する毎に3分間という時間は再設定されるので、3分以内で使用し続けている限りチャンネルの指定は必要ありません。この場合は専用マイクHK-12Vを使用する事の最も便利な所で、PTTの操作だけで済みます。

(例、一度チャンネルが設定されている時)



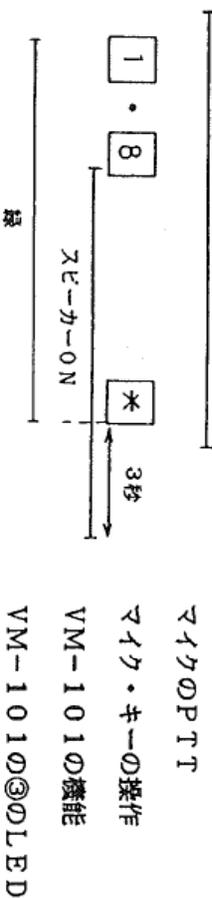
4) VM-101が接続されている無線機との交信

4-1. 専用マイクHK-12Vを使用しない時

- (a) PTTを押す。
- (b) キーワードを押す。
- (c) SP ONキー“回”を押す。これでVM-101がつながっている無線機に外部スピーカーが付き、こちらの声が相手に聞こえます。
- (d) 話しをする。

- (e) “回”を押す。“回”が押されてから、3秒後にスピーカーは切れます。(これは、第三者の呼びかけを受けられる様にする為の時間です。)
- (f) PTTを離す。

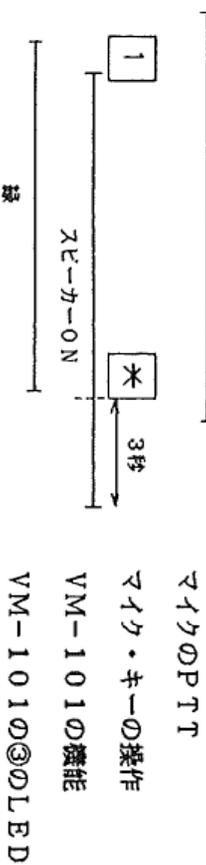
(例、始めてスピーカークONチャンネルを設定する時)



4-2. 専用マイクHK-12Vを使用しない時。モード設定済みの時

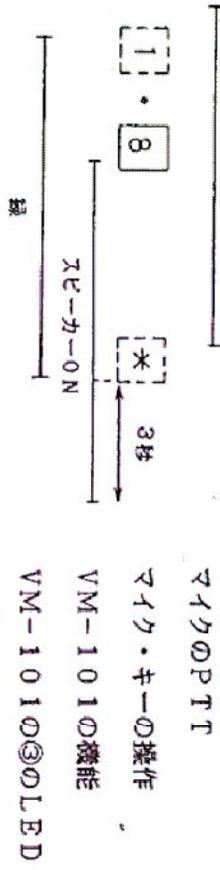
- (g) スピーカークONチャンネルの場合も一度設定すると3分間はこのチャンネルにとどまり、チャンネルの指定が省略できると共に、3分間という時間は使用する毎に更新されます。

(例、一度スピーカークONチャンネルが設定されている時)



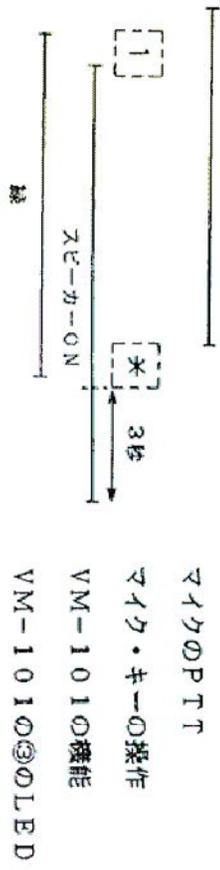
4-3. 専用マイクHK-12Vを使用する時

- (a) PTTを押す。
  - (b) SP ONキー“回”を押す。これでVM-101がつながっている無線機に外部マイクがつながり、こちらの声が相手に聞こえます。
  - (c) 話しをする。
  - (d) PTTを離す。
- (例、始めてスピーカ-ONチャンネルを設定する時)



4-4. 専用マイクHK-12Vを使用する時。モード設定済みの時

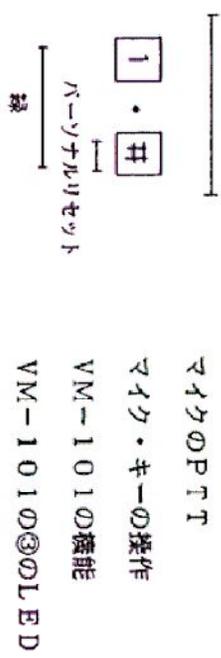
- (e) スピーカ-ONチャンネルの場合も、一度設定すると3分間はこのチャンネルはどどまり、チャンネルの指定が省略できると共に3分間という時間は使用する毎に更新されます。このチャンネルの時も専用マイクを使う事の便利さが最大に発揮されます。
- (例、一度チャンネルが設定されている時)



5) パーソナル無線機のリセット

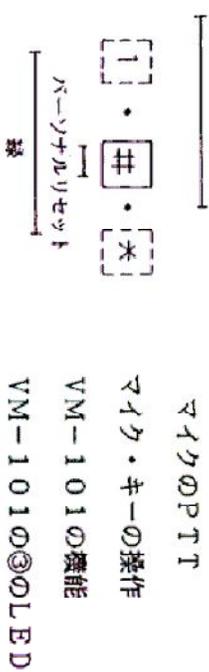
5-1. 専用マイクHK-12Vを使用しない時

- (a) PTTを押す。
  - (b) キーワードを押す。
  - (c) RSTキー“回”を押す。
  - (d) PTTキーを離す。この時は最後の“回”キーは省略できます。
- (例、)



5-2. 専用マイクHK-12Vを使用する時

- (a) PTTを押す。
  - (b) RSTキー“回”を押す。
  - (c) PTTを離す。
- (例、)

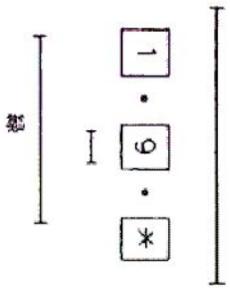


6) 待機状態のセット

6-1. 専用マイクHK-12Vを使用しないとき

- (a) PTTを押す。
- (b) キーワードを押す。
- (c) CLRキー“回”を押す。
- (d) “図”キーを押す。
- (e) PTTを離す。

(例、)

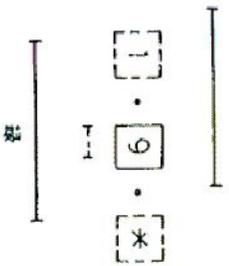


マイクのPTT  
マイク・キーの操作  
VM-101の機能  
VM-101の③のLED

6-2. 専用マイクHK-12Vを使用する時

- (a) PTTを押す。
- (b) CLRキー“回”を押す。
- (c) PTTを離す。

(例、)



マイクのPTT  
マイク・キーの操作  
VM-101の機能  
VM-101の③のLED

少し詳しい説明

タイム・アウトについて

VM-101にはキーワードと各コマンド・キー、及び各コマンド・キーと各コマンド・キーとの間に20秒のタイム・アウト・アウトが設けられています。これはキーワードから次のコマンド・キー、又はコマンド・キーからキーワード・キーまでの間が20秒以上空くと自動的に待機状態であるチャンネル9が設定されます。これにより電波の伝播状態が悪く、キーワードのみ受信できた時や、コマンド・キーから次のコマンド・キーの途中で電波が途切れます。タイム・アウトがキーワード・アウトの状態ではチャンネル9が設定されています。タイム・アウトがかかった時は、チャンネル9が設定されていますので、ユーザーが次に使用する時は、通常の使用方法であるキーワードから使い始めれば良いわけです。

2つめのタイム・アウトは、オート・リピートチャンネルのチャンネル7と交信チャンネルのチャンネル8に設けられています。これは、このチャンネルを使い易くするためのものです。チャンネル7または8を一歴設定すると3分間はこのチャンネルにどまります。したがってユーザーは次回からチャンネルの設定を省く事ができます。又この3分間は使用する毎に更新されますので、3分以内で使い続けている限りチャンネルの設定は不要です。そしてこのチャンネルの機能を止めない時は待機チャンネル9を設定するわけですが、ほらうっておいでも3分後にはチャンネル9が設定されます。

3つめのタイム・アウトは本体側の録音/PTTボタンによる送信の時のものです。これはPTTの送信状態が連続して3分間になると自動的に送信を中止します。この場合、一度PTTを離してすぐには押し直し、送信を開始します。この時も新しい3分間のタイム・アウトが設定されます。これは、誤って無線機を送信状態にしたままにする事を防止するためです。

各チャンネルキーの後押し優先について

パーソナル・リセットチャンネルを無く各チャンネルは、本体側のチャンネルボタンを含めて後押し優先になっています。例えば、キーワードをセレクトし、チャンネル1を指定した後でチャンネル3を指定したとするとチャンネル3が有効となります。従って録音/再生チャンネル1〜3指定を変更できます。又、チャンネル1を指定した後にチャンネル7を指定し直す事も、その逆もできます。パーソナル・リセットチャンネル動作を行なうので変更はできません。

キーワード・アウトアウト機能

これは、全く無関係な第三者によって容易にキーワードを発見される事を防止するための機能です。又、何らかの理由でVM-101がチャンネル待ちの状態に簡単に入る事を防止するためのものでもあります。待機中のVM-101に設定されたキーワード以外のDTMF信号が入ると次に正しいキーワードが来ても動作はしません。(キーワード・アウトアウト)この状態を解除するには“図”キーを押してください。これでキーワード・アウトアウトは解除されます。なお待機中のVM-101に最初に“図”信号が来た時はその信号は無視され、キーワード・アウトアウトは行われません。

本機は録音/再生が可能なチャンネル1~3と、オート・リビート用のチャンネル7を持っていきますが、これ以外に、使用方法で出てきたチャンネル8、チャンネル9、チャンネル#があります。メツセージが夫々同格の1つのチャンネルとして扱ってはいけません。このチャンネル1~3の録音/再生が終了した時に戻る動作の事で、例えば、“キープ”と“\*”だけでオート・リビートを行います。

1) メツセージチャンネル1~3

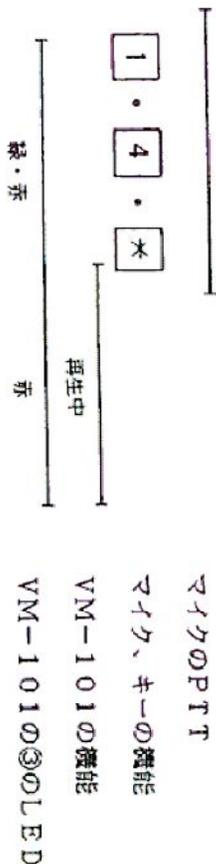
これはメツセージが16秒間録音/再生できるチャンネルです。16秒を越えて録音した時は、録音を開始してから16秒だけが録音され、後の部分は無視されます。

2) オート・リビートチャンネル7

このチャンネルを設定すると最大16秒間のメツセージの録音が開始されます。録音は16秒に達するか、“図”キー信号が来ると終了し、その“図”キー信号が来ると自動的に再生されます。16秒を越えて録音した時は、録音を始めから16秒間の内容が次に来た、“図”キー信号の終了と共に再生され、その“図”で再生が行われます。この“図”を受け付ける時間は最大3分間です。3分間を過ぎるとオート・リビートモードが解除されるために自動再生は行われません。このオート・リビートチャンネル7は初めて設定する時はキーワードの後の“回”の指定が必要ですが2回目からはキーワードだけで録音を開始します。

このオート・リビートチャンネル7は、実は、チャンネル4として使用する事が可能です。チャンネル4のメツセージの録音/再生の方法はチャンネル1~3と全く同じでチャンネル指定で“回”を指定すればこのチャンネルが使えます。但し、チャンネル4にメツセージが入っている時に、チャンネル7を設定して使いますと、同じチャンネルを使っているわけですから当然メツセージは新しい録音によって消えます。この間引き直しの機能があります。これはオート・リビートした再生内容を聞き逃した時に、チャンネル4の再生を行えばよいわけです。この機能を使う時はキーワードの後にチャンネル4の早くチャンネル4信号終了と同時に録音が始まるために“回”を押すまでの間の録音が前回のメツセージに書き重ねられる為です。

(例、オート・リビート時の聞き直し機能)



3) 交信チャンネル8

このチャンネルを設定すると、VM-101がつながっている無線機にVM-101の外側アビエーターが呼び出され、外部の無線機で、VM-101のつながっている無線機の所には外部アビエーターを呼び出され、VM-101はこのチャンネルが設定されている間は外部アビエーターを呼び出され、このチャンネルで3分間はこのチャンネルに使用できるわけですが、この3分間は更新され、一度設定すると次回からは“回”の指定を省略できます。また、キーワードの後の“回”により呼び出されますが“図”信号が来たら3分間は、キーワードの後に“回”が来ない時は3分後にアビエーターは切れて、待機チャンネル9が設定されます。

4) 待機チャンネル9

このチャンネルは、VM-101の各チャンネルを受け付けられる状態で待機しているチャンネルです。チャンネル7及び8の設定が行われて録音中や、アビエーターがONになっている時にそのチャンネルの設定を中止したい時にこのチャンネルを指定する事により、夫々の機能を中止させられます。更に、各タイムアウトが起動した時もこのチャンネルが設定され、次のキーワードを受け付けられる状態になります。

5) パーソナル・リセットチャンネル#

このチャンネルはパーソナル無線機のリセット専用です。アマチュア無線機で使用する時は前項の“接続方法”の所で示しているようにVM-101の黄色の線を切ってください。この線はアマチュア用の無線機ではグラウンドになっている無線機の間数が変わります。このチャンネルだけはチャンネル“回”を押すと同時に動作を始めて、リセット時間 (VM-101がパーソナル無線機のリセットボタンを押している時間) は0.5秒間です。

## 動作がおかしい時

### 異常動作防止機能について

VM-101は全ての機能のコントロールを1チップ・マイクロコンピュータで行っています。VM-101に対しては充分に外来ノイズ、電源の異常、高周波の通り込みなどに対して対策が施してありますが、どうしても完全に防止する事はできません。本機の様なマイクロコンピュータを使用した場合は前記の様な外乱によってマイクロコンピュータが暴走して正常な動作をしなくなる事があります。この時の為にVM-101には正常な動作に復帰させる機能が設けられています。この機能は、正常な動作をしなくなると約6秒で動作し、VM-101を正常な動作に復帰させますので、一時的なノイズなどによる誤動作は約6秒待てば正常に戻ります。しかし、この機能がたびたび動作する様な時はその原因を取り除いてください。原因については次の項で説明しますのでそれを参考にしてください。

### 修理に出す前に（異常動作の原因と対策）

#### 動作しない

- 電源が入っていませんか。
- 無線機との接続ケーブルは確実につながっていますか。
- 無線機の音量ボリュームは絞っていませんか。
- 呼び出し側と本体側のキーコードは一致していますか。

#### 外部スピーカーから再生音が出ない

- 外部スピーカーのコンネクターは確実につながっていますか。
- スピーカー切り換えスイッチが“接続”（スピーカー表示LEDが赤色に点灯）になっていませんか。
- VM-101の外部スピーカー・ボリュームは絞っていませんか。

#### 録音できない

- 本体側でできない
- 本体側のマイク・コンネクターは確実につながっていますか。
- 本体側で録音中ずっとREC又はPTTボタンを押しつづけていますか。
- 外部からできない
- 本体側のマイクがVM-101のINにつながっていますか。（OUTにつながっていませんか。）
- 無線機とVM-101の接続用の変換コードのコンネクターは無線機側と中継コンネクター側があります。VM-101には中継コンネクター側がつながっていますか。

#### キーコード、コンソルトキーが受け付けにくい

- VM-101のつながっている無線機の音量ボリュームが上がりますか。VM-101のつながっている無線機の音量ボリュームが下がりますか。又は下がりすぎたりしませんか。
- 車載用の無線機の場合はボリュームを半分以上に上げると無線機自身で音声出力がはずみ始めるものがあります。音声出力がはずみすぎるとDTMF信号の判定がしにくくなりキーコード、コンソルトキーの受け付けが不安定になります。
- DTMFマイク（トンキー付マイク）側でDTMF信号のレベルが大きすぎませんか。
- 専用マイクHK-12Vの場合は出荷時に調整してありますが、他のマイクをご使用になられたときは、マイクの出力が大きすぎると無線機の電波の伝播状態が悪くありませんか。

### リピーターチャンネルで使用中に他のチャンネルが再生される

- キーコードの番号が途中で途切れたり、手動の時はチャタリングです。対策としてはチャンネルがなり、そのチャンネルが設定されてしまったりして、対策としてはチャンネルとして未使用の番号の5又は6かオートリピートチャンネル自身番号である7をキーコードとしてご使用ください。オートリピートチャンネルはAの人が開いたチャンネルからBの人が開くとBの人のキーコードをチャンネル設定とみなして其のチャンネルが再生します。

#### 再生音にノイズが入る

- 電源を無線機と共用して、VM-101の電源の黒コード（マイクナス線）が無線機のマイク又は無線機のシャーンなどにつながっていませんか。無線機と電源が共用しておられる場合、本機の黒コード（マイクナス線）をはずしてみてください。
- 市販のバッテリーパックなどを使用していて、電流容量が足りなくはありませんか。
- 充電用の物で（簡易電源アダプター等）出力に半波整流の脈流が出ていませんか。

#### たびたび異常動作防止機能が働く

- VM-101をつないでいる無線機を送信する毎に働く時
- 高周波の通り込みを起している時、例えば、アンテナがVM-101のすぐ近くであったり、アンテナケーブルがVM-101の入出力線とまとめてありしていませんか。
- 電源の電圧が下がっていませんか
- これは、無線機と電源を共用している時などは電源のレギュレーションが悪い時などがあります。（VM-101は約10V程度までは正常に動作します。それ以上には下がっていませんか。）
- 普通の状態で起る時は、電源を入れた時（例えば、スイッチを使わずに電源コードをいきなりつなぎ込んだりした様な時）電源が一度に入らずに短い時間の間に何度も入ったり切れたりした様な事はありますか。この様な時は一度電源を切ってもう一度入れ直してください。

#### 話しの頭が途切れる

- マイクのPTTを押してからキーコードが出るまでに約0.5秒の時間があります。その後、キーコードが約0.2秒出ます。このキーコードが出るまでの時間はPTTを押してから送信機側が送信を始めるまでの時間と、VM-101のつながっている側の無線機のマイクが切れている状態でのPTTを押してすぐしゃべり始める状態の時、話しの頭が切れます。上で説明した待ち時間が約1秒待つてからPTTを押して、話しの頭が切れるのは、あまり早くチャンネルボタンを押さずとチャンネル信号が出ません。

【定格及び仕様】

VM-101本体

- 1. 無線機の使用可能な電波形式 : F3 又は A3
- 2. マイク出力適合インピーダンス : 500Ω~100kΩ
- 3. 電源電圧 : DC 12V~15V
- 4. 消費電流 : 約 100mA
- 5. 寸法 (mm) : 177 (D) X 152 (W) X 40 (H)
- 6. 重さ (g) : 1k

HK-12Vマイクホン

- 1. マイクホンユニット : ダイナミックマイクホン
- 2. 8Pマイクコネクタ : フォニオ標準接続8Pコネクタ
- 3. 電源電圧 : DC12V~15V
- 4. 消費電流 (受信時) : 約 9mA  
(送信時) : 約 14mA
- 5. マイク出力適合インピーダンス : 500Ω~100kΩ
- 6. キーボード信号 : 標準DTMF信号
- 7. 重さ (g) : 約 230

本機の仕様、定格及びデザインは性能改善の為に予告なく変更することがあります。